

IoT Lab Selection (第2回先進的IoTプロジェクト選考会議) Finalist に対する NEDO の支援決定！！

IoT Lab Selection (第2回先進的IoTプロジェクト選考会議(7月31日))において、準グランプリである株式会社フェニックスソリューション及び株式会社ゼンリン並びにFinalistである株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社コニカミノルタ、エアロセンス株式会社及び株式会社 ABEJA に対して、NEDO による支援が決定しました。

今後、NEDO との契約手続き等を経て、プロジェクトを実施していくことになります。

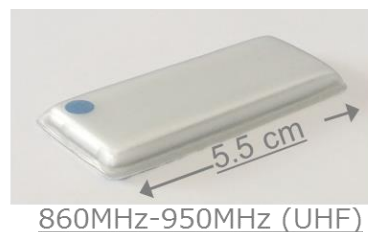
[http://www.nedo.go.jp/koubo/IT3\\_100004.html](http://www.nedo.go.jp/koubo/IT3_100004.html)

## <プロジェクト概要>

### ★準グランプリ★ 株式会社フェニックスソリューション

同社の開発した RFID 技術は、汎用リーダーで金属対象物、特に金属の裏側、積層状態でも読み取り可能な特殊金属タグ(電池不要)である。金属製資材を多用する製造業、建設業、リース業、物流やインフラ施設などで、業務効率改善、管理コスト削減が期待できる。

(用途例：金属製パレット、カゴ車、ポンベ、建設仮設足場など) サプライチェーンへの応用や、センサー、ドローンとの連携で更なる用途拡大を目指す。本技術は世界初の独自技術であり、多品種開発により、世界的な大量普及、金属製品の IoT 実現を目指す。



### ★準グランプリ★ 株式会社ゼンリン

同社は、ドローン活用の究極形態である「都市部等の有人地帯での目視外飛行」(レベル4) 実現の基盤となるドローン自動飛行支援システム開発を目指している。

今回はその一環として、推奨飛行ルートや障害物などを含む「空の3次元地図」の実現や、ドローンプロンプ情報の収集・解析によるルート離脱のリアルタイム把握等によって、有人地帯におけるドローンの安全な飛行を可能とする技術の確立を目指す。



★Finalist★ 株式会社ディー・エヌ・エー

大手物流事業者と提携し、地域商店と商品購入者を自動走行車が繋ぐサービスの創出を目指す。

自動走行に関する研究開発に加えて、注文者の住所と発注先商店、発注時間帯や地域交通状況等の各種データを人工知能で解析することで効率的な配送/配車ルート作成を実現する。



買い物弱者の課題解決、地域商店街の活性化、配送車両稼働率の向上や渋滞回避による排出CO2の削減等が見込める。地域消費を強化する仕組となるローカル型のECネットワークとしてEC業界での新たな軸の形成につながる。

サービスフロー



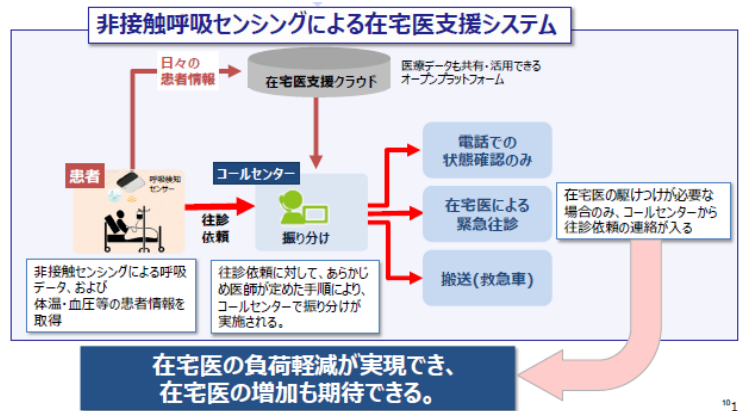
★Finalist★ 株式会社コニカミノルタ

介護施設や在宅等の「在宅患者」は年々増大し続けており、現在の54万人が2030年には190万人になるという予測もある。また、これに伴い、在宅患者の「看取り数」も急激に増大していくことが想定される。

このため、在宅医の負担軽減が可能となるシステム構築によって、高齢社会に備えていくことが不可欠である。

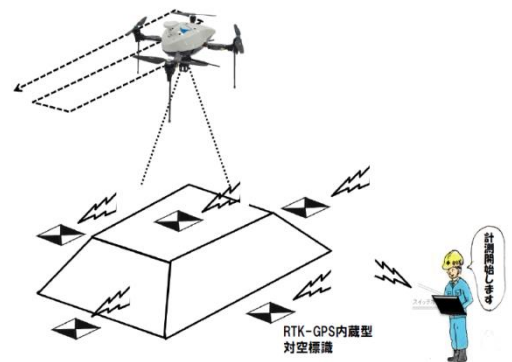
本プロジェクトでは非接触で呼吸、睡眠を精緻に捕捉可能な独自のマイクロ波

センサをコア技術として、これらと体温・血圧等の計測データを共有可能な在宅医療プラットフォームの基盤を構築することで、安否確認や睡眠の質の確認等を行い、在宅医療の効率化に繋げることを目指す。



★Finalist★ エアロセンス株式会社

同社は、ドローンを活用して空撮画像から高精度な3Dモデルを作成する技術を実現し、土木測量、地形計測、建設設計の効率化を実現。具体的には、従来の作業員による土木測量の人手と工数を三分の一 (90Haの測量に、従来6週間掛かっていたものが2週間程度に) にすることを実現。これを更に進化させ、測量マーカー設置時の位置測定や、撮影画像に写ったマーカーに関する補正作業等を自動化することによって、作業工程を極力自動化することで、ドローンによる土木測量におけるさらなる人員削減、作業効率化 (90Haの測量が1週間程度に) が実現可能に。



## ★Finalist★ 株式会社 ABEJA

開発済みの人工知能データ分析プラットフォームで用いるデータベースの高度化。小売店舗の売上を最大化するにあたり、現在の整理・形式化されたデータを活用するだけでは不十分という課題がある。店員・顧客の位置、動き、商品の配置、仕入れ状況等、多種多様な売上に与える要因となる整理・形式化されていない雑多なデータを包括的に管理し、人工知能技術との容易な連携を可能とするデータベースが必要となる。既に顧客である小売店舗をはじめ、IoT化を進める様々な産業で活用可能な人工知能データ分析プラットフォームを開発する。

